

履修モデル（リハビリテーション学部理学療法学科）

リハビリテーション学部の教育課程では科目選択の自由度はあまりなく、特に卒業に要する単位の7割を占める《専門科目》の多くは理学療法士の資格取得に必要な必修科目で構成されていて、履修の順番も指定されているので、理学療法学について系統的な学修ができるように履修モデルを設定しています。

〇リハビリテーション学部理学療法学科履修モデル（2023～）

科目区分	選必修	1年次				2年次				3年次				4年次				単位数計	卒業要件	
		春学期	単位	秋学期	単位	春学期	単位	秋学期	単位	春学期	単位	秋学期	単位	春学期	単位	秋学期	単位			
N G U 教養スタンダード科目	キリスト教	必修	キリスト教概説Ⅰ	2	キリスト教概説Ⅱ	2												4	4単位	
	自己理解と自己開発	必修	基礎セミナー	2	発展セミナー	2												4	4単位	
		選択																	6単位以上※	
	数理・データサイエンス・AI教育	必修	情報処理リテラシー	2														2	2単位	
	言語とコミュニケーション	必修	基礎英語Ⅰ 英会話Ⅰ 日本語表現	1 1 2	基礎英語Ⅱ 英会話Ⅱ	1 1												6	6単位	
		選択																	6単位以上※	
	歴史・文化の理解	選択																	6単位以上※	
	社会の理解																			
自然・人間・生命の理解																				
地域の理解																				
学科専門科目	専門基礎科目	必修	解剖学A 解剖学B 生理学A	2 2 2	解剖学A実習 解剖学B実習 生理学B 生化学	1 1 2 2 1	運動生理学 生理学実習 病理学概論 内科学 整形外科学	2 1 1 2 2	臨床神経学 精神医学 小児科学 リハビリテーション医学 画像診断学	2 1 1 1 1	臨床薬学	1	救命・救急医学	1				47	47単位	
			理学療法学概論	1			人間発達学 基礎理学療法学 運動学 運動学演習 医療統計学 臨床見学実習指導 臨床見学実習	1 1 2 1 1 1 1	地域包括マネジメント論 専門セミナーⅠ 専門セミナーⅡ	1 1 1										
	専門実践科目	選択					理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅰ演習 バイオメカニクス	2 1 1	理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学Ⅱ演習	2 1							9	5単位以上		
		必修					物理療法学 日常生活活動学	2 2	臨床理学療法学A 臨床理学療法学B 臨床理学療法学C 鍼灸装具学 鍼灸装具学演習 物理療法学演習	2 2 2 1 1 1	理学療法治療学総論 臨床理学療法学A実習 臨床理学療法学B実習 臨床理学療法学C実習 発達障害学	1 1 1 1 2		卒業研究	2	46	46単位			
	実践連携科目	選択					地域理学療法学 検査測定実習	2			リハビリテーション活動演習	1			地域理学療法学実習	1				
		必修							理学療法学研究法演習Ⅰ	1	理学療法学研究法演習Ⅱ	1			理学療法管理理学 理学療法学応用セミナーA 理学療法学応用セミナーB	2 1 1	6	6単位		
	単位数計			17		15		19		18		15		19		14		12	129	129単位以上

※「NGU教養スタンダード科目」の選択科目から6単位以上

学びの 領域

理学療法士国家試験を照準に、順序立てて学修ができるように授業を構成しています。学修のベースとなるのは、人間や社会を理解するための教養科目です。そこから理学療法の基礎を学ぶ専門基礎科目と、臨床実習などを行い理学療法を実践的に学ぶ専門実践科目を学修していきます。



理学療法の基礎 [専門基礎科目]

- ・人体の構造と機構および心身の機能
- ・疾病・障害の成り立ちと医学的診断と治療
- ・保健・医療・福祉とリハビリテーション理念
- ・基礎理学療法学
- ・理学療法のための評価学



理学療法の実践 [専門実践科目]

- ・疾病・障害に対する理学療法学
- ・地域における理学療法学
- ・臨床実習
- ・卒業研究



人間理解・社会理解 [NGU教養スタンダード科目]